



第9号

校舎改築について

会長 山田 六一



ことであり、関係機関の皆様に対し厚くお礼申し上げます。また、大変熱心にご活動頂いた対策委員の皆様へ誠に欣ばるべきです。

体育館等々、今まで欠乏していた体育施設は様変わりとなり、大改善が出来るものと考へて、よろしくお願ひ申し上げます。

校舎改築 校地拡張問題については、昨年県の方針が打ち出され、それに基いて同窓会としては全面的に協力すべく、PTAその他関係機関の皆さんとともに、校舎改築対策委員会を組織し、積極的な活動を開始しましたことは、前号で申し上げた通りであります。

その結果当局を始め、関係各位の絶大なるご高配により、別途ご報告申し上げるよう決定致しましたことは、誠に喜びにたえない



一年の回顧とお礼

学校長 小田切光威

が、会員皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。同窓会には平素物心両面からお世話になっておりますが、一年間学校のごことに携わっていただき、ますます

進行中でありまして、今の計画で参りますと、凡そ昭和六十二年には大体育館が完成されることなるかと思ひます。従つてこの年に、新築なつた大体育館で、面目一新された新校舎を見学しながら盛大なる祝賀会を挙行したいと考えておりますので、今からその時をお楽しみに、ご期待頂きたいと存じております。

同窓会の活動も年を追う毎に活発になり、会員相互の親睦が一層緊密になつて参りました。

今後ますますの発展と皆様方のご健康を心より祈り、ご挨拶と致します。

清陵会は五十二年に設立されたものですが、その恩恵を受ける学校の立場として、設立当時の会員の先見の明と母校愛に敬意と謝意を表します。

さて、校舎改築につきましては悲願が捻りつつあります。思い返せば、昨春校舎改築の機が一挙に熟し、賢察され、二月県会において用地買収の予算が計上さ

山田 六一

小田切光威

山田 六一

小田切光威

山田 六一

問題の校地拡張は、希望九千平方メートルに対し、約二分弱であります。ご承知の通りの地形であります。

この大改善が出来るものと考へて、よろしくお願ひ申し上げます。

清陵高校野球部の甲子園出場も夢物語でないかも知れません。また今回の改築に関連して前号で提起された同窓会館のことにつきま

丁度この時期は改築の

でも、いろいろ検討をしておりますが、敷地の問題運営の問題等々むずかしい問題が多く、今後の継続検討と致したく存じて居ります。また校舎の周辺整備、その他の付帯設備等につきましても、同窓会としましては、全面的に協力し立派な校舎が出来るようつとめて参りたいと考えて居ります。従つてその資金面等につき、会員の皆様方いろいろとお願ひ申し上げます。

事態も出て参ると存じますので、よろしくお願ひ申し上げます。

明後昭和六十年には創立九十周年を迎えます。

丁度この時期は改築の

えはそれまでですが、このように時に学校の個性なり特色を鮮明にし、それを教育に生かしていくことは生徒の将来を考えたとき、極めて大切なことと思ひます。幸い本校の場合、他校に見られない特色を幾つか持っておりますが、その一つに、同窓生を中心に運営されている財団法人諏訪清陵高等学校理科教育振興基金および同窓会の設立した財団法人諏訪清陵会があります。

いづれも、公教育としてはなかなか手の及ばない本校の個性的な教育に役立させてもらっています。理科振興基金は昭和三十八年に清陵会は五十二年に設立されたものですが、その恩恵を受ける学校の立場として、設立当時の会員の先見の明と母校愛に敬意と謝意を表します。

さて、校舎改築につきましては悲願が捻りつつあります。思い返せば、昨春校舎改築の機が一挙に熟し、賢察され、二月県会において用地買収の予算が計上さ

昭和57年度 同窓会決算書
昭和58年度 同窓会予算書

収入の部

科目	57年度決算額	58年度予算額
入会金	810,000	1,125,000
繰入金	250,000	250,000
繰越金	382,050	509,057
雑収入	12,047	10,000
合計	1,454,097	1,894,057

支出の部

科目	57年度決算額	58年度予算額
事務費	15,000	50,000
会議費	0	120,000
総会費	139,100	150,000
旅費	92,140	150,000
人件費	168,000	168,000
需用費	79,900	250,000
役務費	2,400	50,000
慶弔費	40,000	100,000
寄付金	250,000	250,000
記念品費	158,500	186,600
雑費	0	50,000
予備費	0	369,457
合計	945,040	1,894,057

れることとなりました。

学校長として、対策委員会の皆様のご熱意に対して

も、また県の誠意に対して

も、ただ感謝の気持ちのみ

ですが、さて本年度は用地

買収の実施であります。地

権者の皆様のご理解と市当

局のご協力をいただき誠意

をもって臨みたいと存じま

す。四、五年後には完成す

る校舎を夢見ながら、日々

の本校教育に力を尽くして

参りたい所存でありますの

で、同窓会各位の一層のお

力添えをお願いいたします。

以上、昨年度を回顧しつ

つ、同窓会の皆様へのお礼

の気持ちを表わしてご挨拶

といたします。

57年度会務報告

後六時より、下辰野公民館

山田会長、山崎出席。

4・22 会報委員会 後

4・3 入学式 入学者

二百七十名(うち女子六十

九名) 山田会長祝辞。(3・

31付矢島五郎校長退職。

4・1付小田切光威校長と

前事務長送別会。

5・16 茅野支部総会

後二時より、真砂、山田会

長、石井副会長ほか出席。

5・22 監査会、前十一

時より、学校。

5・22 常任幹事会、後

二時より、諏訪観光ホテル

より幹事会(新旧校長歓送

迎会)。

6・16 同窓会報(第8

号)発行(二六ページ)

築園打合せ、後三時より

浜の湯(矢島前校長、山崎

万二千五百部。

6・27 同窓会総会 後

一時半より、諏訪市文化セ

ンター、出席者約百二十名

当番幹事四六回生。

7・12 松本支部総会

後六時より、信州会館、山

田会長ほか出席。

8・12 校舎改築対策委

員会、後三時より、学校。

10・30 湖沼マラソン、

OB二十名参加。

11・5 東京支部総会、後

六時より、日本青年館東洋

軒、約二百名出席。山田会

長ほか出席。当番幹事四六

回生。

12・16 校舎改築対策委

員会、後五時より、仙岳。

2・12 常任幹事会、後

二時半より、諏訪湖ホテル。

2・26 諏訪支部総会、

後五時半より湖泉荘、約百

二十名出席。

3・8 第35回卒業式、

前十時より、卒業生三百八

名(うち女子八十六名)。

3・12 岡谷支部総会

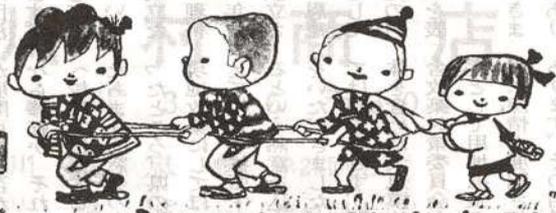
後六時より信濃屋。

推薦(事務局・山崎忠

神州一味噌

神州一味をよるしく

しんしゅういち



みずのん印 しんちゃん印 田舎みず
米魂みず 天然醸造 なかよし印 手づくり

清酒真澄 醸造元 神州一味噌

宮坂醸造株式会社

校舎改築・校地拡張

中間報告

6月から基本設計へ

員会に提出し、本年六月から基本設計に着手する運びとなりました。

一方、校地拡張については、去る二月の定例県会本会議において、校地拡張面積並びに予算案が議決されこの六月いよいよ土地買収について具体的な作業に入ることになりました。

なお、本日までの経過の概要について申し上げ、中間的なご報告にかえさせていただきます。

昭和三十八年一月、校地員会委員、買収予定地現地調査。六月月中旬、県教委、県土調査。六月月中旬、県教委、県土調査。六月月中旬、県教委、県土調査。

昭和三十七年五月、校舎改築および校地拡張対策委員会(仮称)設立準備会第一回開催(設立準備会参集者)同窓会、PTA三役並びに学校代表者、

内科・精神科

医療法人社団いちい会

吉沢病院

院長 吉沢利雄 (39回)
理事 吉沢登 (42回)
常理 事務

東京都町田市小野路町1632番地 TEL 0227-35-2621(代)

金子先生の碑除幕

清陵・二葉の教え子参列

去る三月十九日、金子勝義先生供養の石碑の除幕としのぶ会が催され、ご遺族、清陵、二葉の教え子約六十人が、先生のご遺徳をしのび思い出を語り合いました。先生の甥に当たる金子孝氏（市議会議員）が中心となり、「一族のみなさん」より「金子勝義先生ここにねむる」碑が北真志野墓宮



建立された金子先生の石碑

社の南側の墓地に緑色大理石により立派に建てられま

の後、衆野氏（龍雲寺住職）

○先生をしのぶ文書「百日草」には、四十数年前の先生のご教訓が、大数の皆さんにより綴られており、記念品として頂戴した額「災難に遇う時には遇うがよろしく、病氣するときにははするがよろしく、死ぬ時には死ぬがよろしく候」（良寛とぬがよろしく候）（良寛と

京都より古橋隆之君が参列されました。しのぶ会は橋の兄赤羽増雄氏（元湖南村

の兄赤羽増雄氏（元湖南村村長）のご挨拶のあと長時間先生のお出を語り合いました。

清陵参列者（敬称略）二（四十五回）関弥之助。二葉参列者（敬称略）十六名

懐旧談に花咲かす 道志社の社友なお健在

諏訪中時代の自治の殿堂道志社の寄宿舎は、諏訪も東京も旧地域に跡形なく諏訪は八ヶ岳農場に現存する。社友が先細りしているが、老いて？なお元気のOBが九月三日、冷水浴の古戦場・諏訪市地蔵寺の鍛錬場のある記念碑前に集まって懐旧談に花を咲かせ、物故者の供養をした。

参会者は左記十四名、数

年ぶりの大勢で、初秋の日を楽しんだのであった。会長は下諏訪町高木の篠原大蔵氏、最老年者は明治四十五年入学・八十三歳の古村敏章氏（湖岸通り）柴田正象氏（山の神）竹ノ内省三（岡村）の三人である。なお道志社創設の功労者元農林大臣・故・小平権一先生の伝記が明年三月発行される由、目下編集集中である。

（岡谷市塚間）下島四郎（伊



道志社社友会の集い

那市伊那部 北原軍治、鎌倉市北山の各氏
倉市今泉、両角久一（茅野）
（竹ノ内省三記）

伊藤外科医院

院長 伊藤隆一(58回生)

〒399-04 上伊那郡辰野町北大出

中央道伊北インター際

TEL 02664(2)3388

病院 田中クリニック

院長 (外科・麻酔科)

田中 正利 (第52回生)

副院長 (内科・小児科)

田中マキ子

諏訪市元町18番11号

電話諏訪52-2343番

株式会社 **カカホ**

長野県茅野市宮川4900

TEL 茅野(0266)72-6111(代)

マイクロエンジニアリング株式会社

長野県茅野市ちの塚原989

TEL 茅野(0266)72-6551(代)

代表取締役	花岡健雄	(46回)
専務取締役	立木嘉彦	(46回)
	小川善弘	(46回)

くらしと産業に奉仕する三協グループ

すぐれた製品を通じて社会に奉仕する



三協精機

代表取締役会長

山田正彦

代表取締役副社長

山田六一 (35回生)

代表取締役社長

久保田実

専務取締役

今井芳樹 (42回生)

東京本社 〒105 東京都港区新橋1-17-2 ☎(03) 502-3711

本社下諏訪工場 〒393 長野県諏訪郡下諏訪町5329番地 ☎(0266)27-3111

大阪・名古屋・静岡・福岡・ニューヨーク・ロスアンゼルス・デュッセルドルフ・香港・マレーシア

先輩の話を傾聴

岡谷支部

百五十名出席

本年度岡谷支部総会は、直ちに議事に入り、宮坂副支部長の会計報告を全員で信濃屋に於て午後六時より開催されました。

部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

校長先生からは、清陵高校出席者名簿記載追加の後、は、清陵高校改築について、詳細な説明があり、同窓支部長が「何事も岡谷支部が盛大に同窓会を挙行出来るのは現職役員事務当局の努力もさる事ながら、先輩の培われた伝統である。」と感謝申し上げ、挨拶の後、

直ちに議事に入り、宮坂副支部長の会計報告を全員で信濃屋に於て午後六時より開催されました。部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

本年度岡谷支部総会は、直ちに議事に入り、宮坂副支部長の会計報告を全員で信濃屋に於て午後六時より開催されました。

部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

本年度岡谷支部総会は、直ちに議事に入り、宮坂副支部長の会計報告を全員で信濃屋に於て午後六時より開催されました。

部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

本年度岡谷支部総会は、直ちに議事に入り、宮坂副支部長の会計報告を全員で信濃屋に於て午後六時より開催されました。

部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

本年度岡谷支部総会は、直ちに議事に入り、宮坂副支部長の会計報告を全員で信濃屋に於て午後六時より開催されました。

部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

部長高木常雄(33回生)、副部長小口成人(44回生)、宮坂久臣(44回生)の再選。更に支部本校幹事に小口哲男(44回生)、味沢康夫(46回生)外、岡谷支部役員三十八名が短時間の内に決定致しました。続いて山田同窓会長より祝辞をかねて、「各支部の同窓会が年々活発化しているのは、喜ばしい現状である。」事から同窓会の現状について話され、例年の通り、宮坂久臣副

輩後輩入れ乱れ、懇親に花を咲かせました。大先輩も今宵は十年、二十年若返って若い連中を相手に中学生時代を語り、若者は先輩の語りに聞き入っていました。校長先生は、若かりし時代清陵に教鞭をとられた時の教え子に囲まれ、同窓会長は、「同級生幼いふるさとの同窓生に囲まれ楽しそうな様子は、主催者の喜び、これに過ぎるものはありませんでした。

先輩、後輩より来年も是非一層盛大に開催しろ、来年は女子同窓生の参加を期待する声も各所に聞かれ、総会を終了いたしました。(支部長・高木常雄)

輝かれたとの披露があり全員でお祝い申しあげました。またこの会に毎回のよう

良き時代の追憶

松本支部

名簿を配布

昭和五十七年度の、松本教頭先生、四人の来賓を迎えました。また会員は茅野雄郎氏(23回)、今井夏夫氏(24回)の大先輩、続いて矢崎重雄氏(30回) 榛葉威彦氏(36回)以下、最も若くは信大学生(84回)に至る合計二十七名が出席し

来賓各位より母校および同窓会の現状が報告され、続いて出席者全員が母校在学時代の思い出を語ったり、また、母校卒業後の人生の足どりをのぞいたり、そして母校にたらなる同窓生誰彼とのふれ合いや助け合いはげまし合って世をわたつて来た経緯を語られたりしました。母校を慕い、古き良き時代、若かりし良き時

代を追憶する話の中に、清水ヶ丘に連なる懐旧の共感がありますが、同窓生各位お気づきの情報がありました。ああ麗水に金沙あり、崑岡玉を出すとか……。心をこめて校歌を合唱すれば、其の地人士の連帯感是一段と深まり、その思い精粹の凝りて一体となるばかりであります。多数ご参加くださる席上吉江久明支部長より支部会員上島周蔵氏(24回)が勲四等旭日章叙勲の栄に



座に満ちた懐旧の共感

輝かれたとの披露があり全員でお祝い申しあげました。またこの会に毎回のように出席されていた矢ヶ崎氏(旧姓西村・松本市和田洋画家)が、56年9月30日に慮からざるに逝去された報告もあり、謹んでご冥福をお祈りしました。松本支部は中信支部を兼ね松本市及び木曾郡東筑南北安曇の全域にわたり、同窓会名簿を頼りに一応に二百名程の支部名簿を印刷して当日全員に配布しました。が、実態に合わない点の多いことが予想されます。実

調整区廃止反対

辰野支部 伝統消すな

昨年の総会は大変盛況であつたが、その反省会で、折角の集まりに何か総意で立ち向かうものがあつてもよくはないか、という若い人からの意見があつた。大いに飲み、歌い、笑いさんも呼びかけての出席者の紹介も申し上げた。

今年は大正三年入学の二十回生をはじめ、高遠町、伊那市からもはせ参じ、その中には大正七年入学の二十四回生の先輩もあるなど総じて老若八十数名という盛況であつた。

教諭の皆さんと前会長で当那ご出身の大森栄先生をお迎えすることができた。年費の集まり状況、会務会計報告などがあり、本年も他支部の方で当郡にお勤めなしいし事業等をされる人へも呼びかけての出席者の紹介を申し上げた。

将来、当郡より清陵高校への進学を阻止するような調整区廃止、小学区制、総合選抜方式等を含む制度の実施には、支部総力を挙げ断固絶対反対をすとの宣言文を採択し、総会を盛り上げた。

役員の変更については、一回留任するようにとのこゝとで、さらにわが支部が特力を入れて構成している若い年次にわたる役員の中に女性を加えることも新たに決定された。

本部からは山田会長、石井副会長、工藤教頭、竹村

グライタイとして名をうたわれている新設豊南女子短大で教鞭を執ることになつた三浦久君の素晴らしい音楽を鑑賞し一同感銘を深くした。

懇親会に当たり、「多くの大先輩をはじめ、わが同窓生、互いに酒間、たなかざる鐘は鳴らぬのたとえ、大いに先輩にぶつつかつて行って歓談しよう」と呼びかけ宴は時のたつにつれて大変な賑わいとなつた。興の深まるに及んで、上伊那学生団歌、校歌に熱気はいやが上にも湧きあがつた。

過日列席された来賓から「先日は清陵高校上伊那支部総会に出席させて頂き、その盛大なること、内容の精力的なものに接し感激いたしました」との礼状を頂戴した。

今年、昨年配布した名簿の訂正追加分を印刷配布した。今後、時を得て名簿の再発行をする計画であり同窓会をひとりひとりの内

容なども徹底する方途も講じたい。そして同窓生の意志の疏通をはかり、ともども地域発展に力をいたしたものと念願している。

(支部長・赤羽貞雄)

出席を得て大変盛況でした。席上伊藤支部長から母校の改築計画等近況報告を兼ねて挨拶があり、議事では昨年の総会決議による支部内在住者名簿の作成について各地区毎に委員が中心になつて行うことに承諾いただき、秋までに整理することになりました。名簿が完成しますと会員への連絡も徹底され、支部活動もよりスムーズで活発に行われるものと期待いたしております。

ただ事務局として頭の痛いことが一つあります。それは名簿の印刷代等資金面のことですが当面同窓会報と同じように、支部会員の方々より広告を募集してあての予定ですので、どうかご理解とご協力をお願いいたします。以上、お願いを兼ねて支部報告といたします。

(事務局・丸茂恵司)

地区委会開催

茅野支部

名簿作成決める

昨年五月の総会に於いて、今後の支部活動方針が決定されました。その中で支部の充実を計るため、地区委員をおくことになり、その後幹事会に於いて協議の結果六十人の委員を選考してご委嘱いたしましたところ、皆さん全員が心よくお引受け下さり大変有難く思っています。そして去る三月五日に第一回の地区委員会を幹事と合同で開催(於たてしな会館)三十九名の

河西勇事務所

士 書 士
士 調 査 士
士 屋 調 査 士
士 家 保 險 士
士 地 社 会 士
士 法 律 士
士 法 律 士
士 法 律 士

諏訪漕陵会 (ボート部OB) 会長

諏訪市湖岸通り 4-8-7 (河西ビル)

TEL (0266)58-5315

い橋館の間藤森大

六十歳の年齢差

東京支部 友情温める

第十六回東京支部総会はその十月五日、昨年と同じ神宮外苑の東洋軒で開かれた。総会の設営と運営は本部に準拠し、各学年が順次回り持ちで行うことになった。今回は当番学年として、四六回生が担当した。参加者も年々ふえ、十六回の長老から七六回生の青年まで、その年齢差六十歳

の同窓生百九十二名が一同に会し、たいへん盛会であった。冒頭、物故会員に対して黙とうを捧げ、心からご冥福を祈った。小口楨三支部長(三三六回)は挨拶の中で、特に懸案の支部事務所設置問題と年談の時間を長く持たたいとの配慮から、固苦しい形式は短時間に終わらせようとしたため、当初計画した時間通りに終わることができ好評だった。

常任幹事(四一回)が、会務・決算報告を行い、満場一致で承認された。祝辞は学校長代理として王藤教頭より祝辞に添えられた遠路わざわざ出席された山田六一同窓会長(三五回)から、本部ならびに各支部の総会の概況および八十年史完成と校舎の全面改築についての報告がなされた。司会者が、できるだけ懇談の時間を長く持たたいとの配慮から、固苦しい形式は短時間に終わらせようとしたため、当初計画した時間通りに終わることができ好評だった。

常任幹事(四一回)が、会務・決算報告を行い、満場一致で承認された。祝辞は学校長代理として王藤教頭より祝辞に添えられた遠路わざわざ出席された山田六一同窓会長(三五回)から、本部ならびに各支部の総会の概況および八十年史完成と校舎の全面改築についての報告がなされた。司会者が、できるだけ懇談の時間を長く持たたいとの配慮から、固苦しい形式は短時間に終わらせようとしたため、当初計画した時間通りに終わることができ好評だった。

最後は恒例により、次回当番代表の片岡秀彦氏(四七回)から今年に負けぬ運営をする決意を含めた閉会の挨拶があり、無事総会を終了した。

一年ぶりの再会も、予定していた時間はあつという間に過ぎ去り、全員で校歌を元気いっぱいの声を張り上げて歌った。感激がクライマックスに達したところで石井睦蔵同窓会副会長(三七回)の音頭による万歳で締めくくられた。

最後は恒例により、次回当番代表の片岡秀彦氏(四七回)から今年に負けぬ運営をする決意を含めた閉会の挨拶があり、無事総会を終了した。



なごやかな懇親会風景

懇親会は、大森栄顧問(二二回)による鏡割りが万雷の拍手のうちに終わり、小沢正之氏(一八回)の元氣な乾杯の音頭でにぎやかに始まった。諏訪から参加した人々を囲んで故郷の懐かしい話に花が咲く中で、平出賢氏(二〇回)のお孫さんによる津軽三味線と民謡が華を添え、宴を大いに盛り上げてくれた。

支部長に坂本氏

富士見支部 役員を一新

役員を一新

三月十二日富士見支部の総会を駅前前の油屋旅館で開きました。土曜日の午後であり、また三月の時期で会合が重なり、出席者も二十名を欠いてしまいました。今年役員改選で先に幹事会で作った案を発表して賛同を得、支部長に坂本村木大僧正が脳血栓で入院された折りの話を帰りの電車に乗り合わせたとき聞き

あり方を改めて考え直す必要がある。今回の盛会を心から祈ってやまない。



大森顧問の鏡割り

ました。入院されて三日目です。もう八十路に届くに村木さんが「俺が清陵高こうという年で病に負けず老校の第一校歌を終わりにしていただきます盛んな大顧問歌うから間違ったところがでした。あつたら指摘しろ」と看護また「お前支部長になったの奥さんに申されて、ベツたら富士見町の同窓生全部トの上に起きて「東に高き」の名前をよく覚えておけ」八ヶ岳……」と歌い出し、と、支部長としての責任の最後の「ああ信山の健児等 一部を教えて頂いた。いつのやがて咲くべき春や何 遇っても元気で、私達後輩時？」と正確に歌い終わって指導して頂いて本当に有て、奥さんから「間違いご 難いと感謝し、今後とも大ざいませんでした」と言わいに頑張っていきたくと思は治ったと断言されたぞ (支部長・坂本 積)

(奥石吉寛記)

横井病院

診療科目

- 一、眼科
- 二、整形外科
- 三、脳神経外科
- 四、外科

茅野市宮川三九八〇

電話(72)2316代

院長 横井次雄
 医師 横井一彦 (58回生)
 同 横井俊明
 同 横井節子
 薬局長 横井昌隆 (64回生)



電磁波公害防止に盡くす

株式会社

電研精機研究所

〒203 東京都東久留米市八幡町1-4-21 電話(0424)73-3745番

代表取締役 矢ヶ崎昭彦 (47回生)



株式会社 中央企画

- 〒392 諏訪市四賀821 ☎(0266)58-2382代 ファクシミリ(0266)58-2901
- 岡谷営業所 ☎(0266)22-5551代 ファクシミリ(0266)24-0304
- 東京営業所 ☎(03)269-0221代 ファクシミリ(03)267-3051

いつの日も フレッシュ感覚

- パンフレット・カタログ・ポスター等の企画デザイン・広告文案・写真撮影
- テレビ・雑誌・新聞等の広告代理
- 画集・歌集・書籍等の企画・編集・印刷

中央印刷株式会社

- 〒394 岡谷市川岸108 ☎(0266)22-5551代 ファクシミリ(0266)24-0304
- 諏訪営業所 ☎(0266)58-2382代 ファクシミリ(0266)58-2091
- 東京工場 ☎(03)269-0221代 ファクシミリ(03)267-3051
- 伊那工場 ☎(026579)3723代 ファクシミリ(026579)6360



信州の自然が育てた
むかしの味!!

ヤマナガみそ

専務取締役 矢崎 清太郎 (60回生)

株式会社 ヤマナガ

茅野市塚原1-2-5

TEL 0266-72-1212

東洋のスイス

諏訪湖畔で精密加工技術に生きる



株式会社 **ダイヤ精機製作所**

本社工場 岡谷市小井川17978

☎ 0266-27-7733

営業所 東京都杉並区上井草4-9-12

☎ 03-399-0685

コンピューター端末機器
精密計測器
省力機械

代表取締役 小口 成人 (第44回)

常務取締役 高波 勝郎 (第44回)

取締役 小口 禎三 (第36回)

監査役 植野 忠道 (第41回)

平山医院

院長 内科 平山 隆男 (68回生)

耳鼻咽喉科 外科 平山 正健 (33回生)

〒393 諏訪郡下諏訪町3149の7

TEL 0266(27)8053

肥料・飼料
農業資材



雑穀
工業薬品

茶屋商事株式会社

代表取締役社長 小口 達雄 (42回生)

本社 諏訪市大字中州字曾根田4808

TEL (0266)52-6500(代)

出張所 上伊那郡箕輪町中箕輪11896

TEL (026579)-8510

営業品目

時計・宝石・メガネ・レコード

株式会社

ヤマザキ

諏訪市諏訪1-3-11

TEL 52-5200(代)

社長 山崎 壮一 (51回生)

専務 山崎 篤 (67回生)

営業部長 原 英充 (65回生)

岩波 秀成 (66回生)

柳 沢 秀生 (74回生)

古いのれんと新しい設備
政府登録国際観光旅館
鷺の湯
諏訪観光ホテル

代表取締役 伊東 克郎 (第50回)
〒391 諏訪市湖岸通り三二二-一四
電話 (0266) 五〇〇四八〇(代)

(有)米屋金物店

〒391 茅野市宮川 4430

TEL 0266(72)2023

代表取締役 伊藤 治夫 (36回生)

矢嶋内科医院

院長 矢嶋 淳 (第46回)

茅野市 ちの駅前

TEL 0266(72)2048

(回27) 齋 雅

齋 雅

(回25) 大 英

大 英

(回17) 中 英

中 英

(回27) 介 羊

介 羊

古
の
ち
ん
な
り
の
ち
ん
な
り

信州の自然が育てた

アイデア、美しさ

をモットーに、企画から印刷まで



株式会社 マルジョー 上田印刷

諏訪市高島1-7-22

☎ (0266) 58-5 5 2 2(代)

代表取締役 上田善太郎 (第56回)

信州下諏訪温泉

望月楼
下諏訪町
TEL 0266(27) 6000
大橋 徒 (37回)

諏訪湖ビューホテル
下諏訪町
TEL 0266(27) 2281
武居 章介 (59回)

諏訪湖プリンスホテル
下諏訪町
TEL 0266(27) 2200
大久保 秀一郎 (49回)

かめやホテル
下諏訪町横町
TEL 0266(27) 8033
岩波 時雄 (28回)

うらかめや
下諏訪町小湯の上
TEL 0266(27) 7222
植松 大六郎 (36回)

蓼科

中央道全通!! 信州で最も楽しいリゾートホテル
東京・名古屋から3時間圏内



- 客室 132室 収容700名様
- 宴会場 500名用・250名用他
- 会議室 600名用・250名用他
- 大浴場 トレビ・湧泉
- クラブムーンライト (豪華ショー)
- 信濃茶屋・カフェテリア
- 25m温泉プール
- テニスコート

新宿で2番目にうまい店
日本料理



湯の湯

〒391-03 長野県茅野市蓼科温泉
☎0266(67)2525(代)

蓼科温泉 蓼科グランドホテル別館 (0266) 67-2700

霧ヶ峰 レストランサン霧ヶ峰 (0266) 53-6300

ヌイ

西新宿 348-4080

東京営業所 ☎03-348-1515 大阪営業所 ☎06-264-5560 名古屋案内所 ☎052-562-0226

代表取締役 柳澤 英次 (45回) フロント 土橋 武晴 (72回)
常務取締役 柳澤 洋介 (73回) わが社の仲間 支配人 柳澤 英伸 (77回)

牛山正雄先生記念文集の刊行迫る！

牛山正雄先生記念文集刊行会

一昨年の五月十五日、その来を思い、さらには、一本の人柄を知るすべての人々、一草をも愛してやまなかつた先生の優しきや自然科学に記憶を刻み込んで世を去られた清陵の名物教師、「うまさ」こと牛山正雄先生を偲んで企画・編纂されて

重傷を負いつつも九死に一生を得た先生の燃えるよ

うな探究心鋭い観察眼、飾らない人柄をそのままに伝える貴重なこの「縮図」は、数枚のスケッチも添えられ、読む人に多大の感銘を与え、ずにはおかないでしょう。

第二部は追悼篇で清陵先生の遺された研究・随想・講演記録などに加え、ご遺族のお許しのもとに、この篇と、50回生から86回生まで、初めに整理・編集された門外不出の未発表ノート「縮図」が収録されており、

これは先生が学徒出陣の一兵士として激戦地トランク島で過ごされた思い出を復員後綴られた記録です。

60回生有志による二つの座談会は、それぞれ、往時を彷彿とさせる生き生きとした読物です。

さらに、生前の先生と親交のあつた作家・小堀杏奴さんの特別寄稿「上諏訪断片」には、青年時代の「うまさ」とその周辺が活写されています。

（送料基）を

望しております。

製作部数に限りがあります。

早急に、領布代金三千元

「理想の花の咲かむまで」

一生を得た先生の燃えるよ

うな探究心鋭い観察眼、飾らない人柄をそのままに伝える貴重なこの「縮図」は、数枚のスケッチも添えられ、読む人に多大の感銘を与え、ずにはおかないでしょう。

第二部は追悼篇で清陵先生の遺された研究・随想・講演記録などに加え、ご遺族のお許しのもとに、この篇と、50回生から86回生まで、初めに整理・編集された門外不出の未発表ノート「縮図」が収録されており、

これは先生が学徒出陣の一兵士として激戦地トランク島で過ごされた思い出を復員後綴られた記録です。

60回生有志による二つの座談会は、それぞれ、往時を彷彿とさせる生き生きとした読物です。

さらに、生前の先生と親交のあつた作家・小堀杏奴さんの特別寄稿「上諏訪断片」には、青年時代の「うまさ」とその周辺が活写されています。

（送料基）を

望しております。

製作部数に限りがあります。

早急に、領布代金三千元

牛山正雄先生 記念文集——

来る七月中旬頃の刊行を目標に、製作の最終段階に入りました。

内容は二部構成で、その第一部は遺作篇として、先生の遺された研究・随想・講演記録などに加え、ご遺族のお許しのもとに、この篇と、50回生から86回生まで、初めに整理・編集された門外不出の未発表ノート「縮図」が収録されており、

これは先生が学徒出陣の一兵士として激戦地トランク島で過ごされた思い出を復員後綴られた記録です。

60回生有志による二つの座談会は、それぞれ、往時を彷彿とさせる生き生きとした読物です。

さらに、生前の先生と親交のあつた作家・小堀杏奴さんの特別寄稿「上諏訪断片」には、青年時代の「うまさ」とその周辺が活写されています。

（送料基）を

望しております。

製作部数に限りがあります。

早急に、領布代金三千元

来る七月中旬頃の刊行を目標に、製作の最終段階に入りました。

内容は二部構成で、その第一部は遺作篇として、先生の遺された研究・随想・講演記録などに加え、ご遺族のお許しのもとに、この篇と、50回生から86回生まで、初めに整理・編集された門外不出の未発表ノート「縮図」が収録されており、

これは先生が学徒出陣の一兵士として激戦地トランク島で過ごされた思い出を復員後綴られた記録です。

60回生有志による二つの座談会は、それぞれ、往時を彷彿とさせる生き生きとした読物です。

さらに、生前の先生と親交のあつた作家・小堀杏奴さんの特別寄稿「上諏訪断片」には、青年時代の「うまさ」とその周辺が活写されています。

（送料基）を

望しております。

製作部数に限りがあります。

早急に、領布代金三千元

来る七月中旬頃の刊行を目標に、製作の最終段階に入りました。

内容は二部構成で、その第一部は遺作篇として、先生の遺された研究・随想・講演記録などに加え、ご遺族のお許しのもとに、この篇と、50回生から86回生まで、初めに整理・編集された門外不出の未発表ノート「縮図」が収録されており、

これは先生が学徒出陣の一兵士として激戦地トランク島で過ごされた思い出を復員後綴られた記録です。

60回生有志による二つの座談会は、それぞれ、往時を彷彿とさせる生き生きとした読物です。

さらに、生前の先生と親交のあつた作家・小堀杏奴さんの特別寄稿「上諏訪断片」には、青年時代の「うまさ」とその周辺が活写されています。

（送料基）を

望しております。

製作部数に限りがあります。

早急に、領布代金三千元

来る七月中旬頃の刊行を目標に、製作の最終段階に入りました。

内容は二部構成で、その第一部は遺作篇として、先生の遺された研究・随想・講演記録などに加え、ご遺族のお許しのもとに、この篇と、50回生から86回生まで、初めに整理・編集された門外不出の未発表ノート「縮図」が収録されており、

これは先生が学徒出陣の一兵士として激戦地トランク島で過ごされた思い出を復員後綴られた記録です。

60回生有志による二つの座談会は、それぞれ、往時を彷彿とさせる生き生きとした読物です。

さらに、生前の先生と親交のあつた作家・小堀杏奴さんの特別寄稿「上諏訪断片」には、青年時代の「うまさ」とその周辺が活写されています。

（送料基）を

望しております。

製作部数に限りがあります。

早急に、領布代金三千元

来る七月中旬頃の刊行を目標に、製作の最終段階に入りました。

内容は二部構成で、その第一部は遺作篇として、先生の遺された研究・随想・講演記録などに加え、ご遺族のお許しのもとに、この篇と、50回生から86回生まで、初めに整理・編集された門外不出の未発表ノート「縮図」が収録されており、

これは先生が学徒出陣の一兵士として激戦地トランク島で過ごされた思い出を復員後綴られた記録です。

60回生有志による二つの座談会は、それぞれ、往時を彷彿とさせる生き生きとした読物です。

さらに、生前の先生と親交のあつた作家・小堀杏奴さんの特別寄稿「上諏訪断片」には、青年時代の「うまさ」とその周辺が活写されています。

（送料基）を

望しております。

製作部数に限りがあります。

早急に、領布代金三千元

来る七月中旬頃の刊行を目標に、製作の最終段階に入りました。

内容は二部構成で、その第一部は遺作篇として、先生の遺された研究・随想・講演記録などに加え、ご遺族のお許しのもとに、この篇と、50回生から86回生まで、初めに整理・編集された門外不出の未発表ノート「縮図」が収録されており、

これは先生が学徒出陣の一兵士として激戦地トランク島で過ごされた思い出を復員後綴られた記録です。

60回生有志による二つの座談会は、それぞれ、往時を彷彿とさせる生き生きとした読物です。

さらに、生前の先生と親交のあつた作家・小堀杏奴さんの特別寄稿「上諏訪断片」には、青年時代の「うまさ」とその周辺が活写されています。

（送料基）を

望しております。

製作部数に限りがあります。

早急に、領布代金三千元

来る七月中旬頃の刊行を目標に、製作の最終段階に入りました。

内容は二部構成で、その第一部は遺作篇として、先生の遺された研究・随想・講演記録などに加え、ご遺族のお許しのもとに、この篇と、50回生から86回生まで、初めに整理・編集された門外不出の未発表ノート「縮図」が収録されており、

これは先生が学徒出陣の一兵士として激戦地トランク島で過ごされた思い出を復員後綴られた記録です。

60回生有志による二つの座談会は、それぞれ、往時を彷彿とさせる生き生きとした読物です。

さらに、生前の先生と親交のあつた作家・小堀杏奴さんの特別寄稿「上諏訪断片」には、青年時代の「うまさ」とその周辺が活写されています。

（送料基）を

望しております。

製作部数に限りがあります。

早急に、領布代金三千元

来る七月中旬頃の刊行を目標に、製作の最終段階に入りました。

内容は二部構成で、その第一部は遺作篇として、先生の遺された研究・随想・講演記録などに加え、ご遺族のお許しのもとに、この篇と、50回生から86回生まで、初めに整理・編集された門外不出の未発表ノート「縮図」が収録されており、

これは先生が学徒出陣の一兵士として激戦地トランク島で過ごされた思い出を復員後綴られた記録です。

60回生有志による二つの座談会は、それぞれ、往時を彷彿とさせる生き生きとした読物です。

さらに、生前の先生と親交のあつた作家・小堀杏奴さんの特別寄稿「上諏訪断片」には、青年時代の「うまさ」とその周辺が活写されています。

（送料基）を

望しております。

製作部数に限りがあります。

早急に、領布代金三千元

振替口座番号
東京 2-222095

牛山正雄先生

記念文集刊行会

〒102 東京都千代田区

飯田橋二一五—四

汲古書院 坂本健彦

宛てに振り込んで下さるか

また

宛てに直接ご送金下さい。

その際、送り先の住所・

氏名・回生の記入をお忘れ

なくお願いいたします。七

月末日入金分をもって締切

らせていただきます。刊行後直

ちにお手許に届くよう発送

いたします。

ご宿泊ご宴会に是非ご利用ください。

上諏訪温泉・国際観光旅館・日観連会員

スワシティホテル

成田屋

松沢一夫 (40回)

諏訪市大手並木通り TEL (52) 4500(代)

学年だより

語り合う喜び (18回生)二年ぶりの集い

明清同級会 明治四十五年入学)の老人同窓の面々が、昨年十月二日、諏訪市浜の湯ホテルで、二年ぶりに例会を開き歓談した。



老友集うのが自慢

(本町二丁目、茅野市は東十数名あり、寂しいことであつた。(竹ノ内省三) 城久左衛門君(本町西)、それに柴田君の夫人を加えての北原義張、平林忠知両君 合計十名―東京、大阪、滋賀などの級友は全部不参加―

在京の会員で、諏訪市本町出身の柴田正象君が帰郷中だったので、同君を語り、諏訪市は土橋春雄君(諏訪二丁目) 古村敏章君(湖島二丁目)と竹内省三(岡谷市二丁目) 岡谷市は花岡良齋君(中央町二丁目) 城取清晴君(ペンネーム冬野清張川岸三沢 征矢茂雄君

在校時代の思い出話に花を咲かせ、宮坂君の銘醸「真澄」に舌つづみを打って薄暮散会した。

我々第三十二回同級会は、二年に一回ずつ催している。昨秋は十月十七日に開催したが、大体計四時間、それが十月十七日に開催した。出た通知数は百八通も時間足りず、皆名残りを惜しみつつ帰って行った。例の通り盛会で出席者三十四名。残念なことに恩師お三方をお招きしたが、いずれも病気で出席不可能であつた。

最初に物故者の法要を執り行ない、その後、宴会に移るが、大体計四時間、それが十月十七日に開催した。出た通知数は百八通も時間足りず、皆名残りを惜しみつつ帰って行った。例の通り盛会で出席者三十四名。残念なことに恩師お三方をお招きしたが、いずれも病気で出席不可能であつた。

「一泊して……」という声も幾人かから出ている。(前島能一記)

一泊して……の声も

(32回生) 三十四名出席

季節料理

シャブシャブ料理

天ぷら
割烹

仙岳

湖明館通り 電話58-3515
〔駐車場完備〕

地元の繁栄をはかるみなさまのしんきん

諏訪信用金庫

理事長 山岡利平(28回)

専務理事 宮坂久臣(49回)

本店 長野県岡谷市幸町7番41号
TEL 岡谷(0266)23-4567

らながら驚いている。らう人達が一生懸命応募しその感想を話されたことを今でも覚えていた。清水先輩のフラス帰りの記念の画集に對して、三沢先生が授業中に、

唐沢山で校歌高唱

(34回生) 宴会は下界で

去年東京のクラス回での東京、名古屋、伊那、甲府、用意したので、飲む程に、約束通り、五十七年度の合からなじみの顔が、そぞろい気分になり、窓外を見合を、諏訪市唐沢山で、十く登って来てその数二十、れば、はるか下界に諏訪湖一月七日に開催したところ、二名、紅葉をめたり、昔がかすみの中に浮び、その向うに赤石山脈が、その又向うに伊那、木曾の山々が

その感想を話されたことを今でも覚えていた。清水先輩のフラス帰りの記念の画集に對して、三沢先生が授業中に、

たを低くみて、浩然の氣に満たされ、誰からともなく校歌が自然に歌われ始め、山にこだませよとばかり大声で、のどがかるるのまか

まわず歌いつづけた。唐沢山での散策と觀楓を兼ねて宴會をひとりにし、二人とかけて行く事を考え上諏訪に下り、眺望絶佳の

驚の宮荘で、例年のクラスよりよき老人とし毎日を充つて筆を置きます。また逢う日までお元気で

皆と遠慮なく、中学時代の向うに伊那、木曾の山々が

見え、まさに世俗のごたごた、咲き、和氣満々のうちに九

昭和五十七年に我々は三回の同級會をもった。一回は五月八日の東京同級會。今

入学50周年を記念

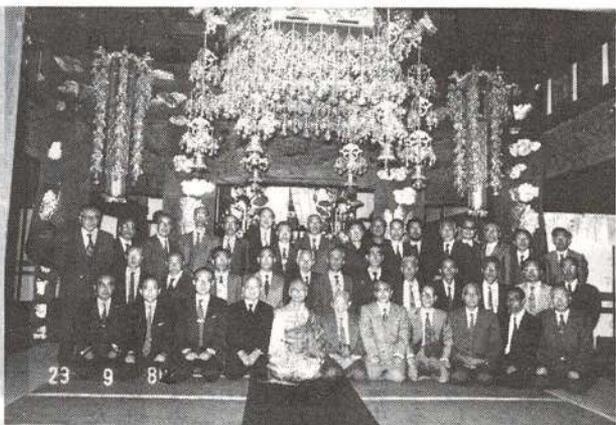
(37回生) 二回の同級會

の二君が参加した。出席者は右の諸君の他の飯島重孝、尾沢賢一、小尾圭三、小口

井信雄、大和千春、木川達正七、藏田尊明、後町良定、小林光雄、林盛男、林次郎、大に五十周年記念同級會と

として呼びかけた。会場は岩波章君の経営する目黒の「松島」である。諏訪からは

会長・石井睦藏、武井清吉



地藏寺での慰靈祭に参列の面々

同級會は盛會裡に終わり、とに決定した。新物故者は諏訪へは必ず大挙して行く今井哲一、内山隆正、大藏と約して散會した。弥一、黒沢秋雄、浜正治の諏訪において早速幹事會

が持たれた。茅野地区が一番なので、茅野から田村正邦君と細田貴助君、それに四月入学だから正確にいう石井、古原源之助、武井、と昭和五十七年三月には五土橋道久、林達三良の諸君、十一年経過している。昭和念同級會と前回慰靈祭以後を過ぎたところだ、という



唐沢山での記念写真



宴会で石井会長のあいさつ

TEL (0562) 73-0878

とにしたので念のため……は二百七名であったわけだ
以後、幹事会を重ねて計が、その中から物故者六十
画を進めた。いつも石井君 二名と通信先がはつきりし
の「中央企画」の一室を借 ない人を除いたものだ。間
りた。「慰霊祭は地蔵寺で、 もなく次々と返事が戻って
同級会は驚の宮荘で行うこ 来た。最終的には先生も含
とにした。ご遺族は遠方の めて四十三名出席という回
方が多いし、却ってご心配 答であった。この数字は今
をかけたもどうかというこ までのと同級会、慰霊祭
とで今回はお呼びしないで にも上回る数字で、五十周
ご報告だけすることにした。 年記念同級会は最高の盛り
会費は慰霊祭費共に五千円、 上がりで行われることにな
欠席者からは二千元送って った。

九月二十三日、いよいよ

八月二十四日に通知を発 当日になった。あいにく朝
送した。九十三通であった。 来の雨であったが、最初の
この数字は、我々の同級生 会場・地蔵寺へ次々と懐か

しい同級生が集まって来た。 して声涙共に下る挨拶をし
「やい、卒業以来だなえ」あ た。一同導師に合わせて般
れは誰だやあ」などの言葉 若心経と修証義を唱え冥福
が交錯した。 を祈った。最後に住職が「亡
先生では北沢芳五郎先生 くなられた方のお命頂戴し
が元気に出席してくださっ て……」と言われたが、正
た。最も遠来は仙台から赤 にそのように残った我々は
羽貞亮君、神戸から林次郎 みんな長生きしなければな
君、大坂から田中克郎君な らないと心に誓った。この
どである。京浜方面から、 慰霊祭のことは後に遺族に
飯島、今井、大和、小口正 事をいいただいた。

尾沢、木川、蔵田、小林光 飯島君によつて写真を撮
後町、清水泰三、立川、増 計画ではみんなて諏訪の市
沢幸人の諸君が約束通り駆 街や諏訪湖を見下して昔を
けつけた。松本から百瀬祥 偲びながら歩いて移動する
三君、そして地元からは石 予定であったが、雨のため
井、笠島嶺信、金子恭之、 ハイヤーを使った。

久保田元次、黒河内信、古 東京代表の今井君の挨拶
原、小林正樹、小島与四男、 その中に故・小口光三君の
清水市之、関広視、武井、 詩の話や土川君の著作の紹
田村、土川正男、土橋、林 介があった。八十二歳の北
正七、林達、平林光美、平 沢先生のお話に「健康の秘
林達郎、宮坂徳衛、宮沢栄 訣は酒を過ぎさないことと
一、矢島正慶、山田節爾、 毎日水を飲むことだ」と話
細田の諸君である。申し込 された。我々はまだ最低二
みをしたが、都合で不参加 十年は生きられるはずだ。

慰霊祭は地蔵寺住職の導 遠来の赤羽君の音頭で乾杯
師で厳しゆくに行われた。 して、我が入学五十周年記
石井会長が長い原稿を用意

念同級会は佳境に入った。 た。 記念写真やスナップ
語り、飲み、五十年を振り 最後は田村君の指揮で校
返つて時の移るのを知らな 歌「東に高き」「ああ博浪の」
かった。席上、文集を作る を歌った。そして田中君の
うという提案があつて、委 音頭で万歳三唱をして名残
員をあげて進めることにし りを惜しみながら散会とな

飯島君名大学長に

(41回生)就任祝賀兼ね

ふり返れば、不惑といわ 名幹事長の旗ふりよろしき、 こともあるクラス会を開き、
れる年齢から既に遠く来た により、各事象の確にと、 久闊を叙し、「東に高き」を
は、「ミヤリ」こと藤森利男 を合せ、時には全国規模の 高唱しています。



多士 濟々の41回生

去る一月三十日午後五時よ り、いつもながら藤原先輩 の御好意に甘え、諏訪市ぬ のはんホテルに二十五名が 出席して、久しく広島大学 学長の職にあつて、昭和五 十六年七月から名古屋大学 学長に転ぜられた飯島宗一 君が、矢島貞雄専務のささ える信濃毎日新聞社の行事 にて飯田市へ赴く途次を、 少々のみわり道と途中下車 を強要して、久方ぶりに郷 土入りをする同君の歓迎会 と、おそまきながらの学長

(細田貴助記す)

宅地造成・建売住宅

中央不動産株式会社

代表取締役 矢崎舜彦 (第47回)

〒391 茅野市塚原2-5-17
中央ビル一階
TEL (0266)72-2231

土地・建物の鑑定評価

(株)都市不動産鑑定事務所

代表取締役 不動産鑑定士 矢崎敏臣 (第76回)

〒391 茅野市塚原2-5-17
中央ビル二階
TEL (0266)72-0678

鮎沢耳鼻咽喉科医院

院長 鮎沢瑞穂 (47回生)

〒392 諏訪市大和3-13-22
TEL 0266-52-6434

ご子弟の免許取得には

(東京方面の方は20日間で卒業できる合宿教習で)
長野県公安委員会指定

茅野自動車学校

茅野市宮川坂室5299番地 電話0266-72-4111

代表取締役 桑沢和夫 (47回生)
専務取締役 矢崎斉男 (51回生)
渉外部長 上条雅夫 (50回生)

還暦記念会を開催

(42回生) 夫婦同伴二組

八ヶ岳の峰々には未だ白い雪が光っている四月十七日、諏訪地方は百花繚乱

県内から集う出席者四十四名、うち恩師では林田先生ご夫妻等三名、同期生夫婦同伴の二組でした。夫婦同伴は、今回初めての計画ですが、今後に期待します。思い起こせば、我々同期生に百二十余名が、昭和十六年の遠い昔の日、旧諏訪中学校を巣立って以来、既に四十二年の星霜を重ねるに至りました。

中かかつては紅顔の少年達も今や六十歳になり、還暦



春宵一刻価千金の宴を前にして

時は将に、春宵一刻価千金の宴であり、酒、ビール、ウイスキー等の好みを手にし、膝を交え、手を執り、昔を思い、明日を語り、放歌高笑の歓談となりました。四十年ぶりの再会者もいましたが、それぞれの顔、口調、仕種には変わらぬ昔日の傍があり、懐旧の情に浸りました。時移り、夜も更けたところで校歌となり、感慨深いあの合唱となりました。最後に、再会を約しての万歳

就任祝賀に併せて、不惑会
の新年会を挙行了しました。
会は宮坂輝幹事の司会に
て進行、飯島学長の視野の
広い話に耳を傾け、やがて
懇親に入り、東京より出席
の柳沢理一郎君を含め、お
たがい元気にての再会を
喜び合い、今後の健斗を誓
い合いつつ益を交わし、語
住所でありますから、新住
桜花爛漫の好季を迎えまし
た。
この日四十二期生は、諏
訪市湖岸通り、湖泉荘にお
いて、六十歳の還暦記念会
を催しました。

所を記します。
464名古屋千種区
富士見台4の52の6
以上、母校の二層の発展を
祈りつつ、報告とします。
（小口正介記）

の七十人をこえ、今病床に
臥すものも絶えない状況で
す。
またこれまでに厳しく、
苦しかった戦中戦後の激動
期を生き抜き、昭和元祿の
繁栄にも浴し、ここに社会
の現役を去るものも多くな
り、家庭では親離れ、子離
れの人生を迎えています。こ
ういふことで、幹事一同
相図り、この時に還暦記念
会をもつた次第であります。
一人一部分のテーブルスピ
チで消息を語り、それにカ
ラオケとなりました。
報告から開宴に引き続き、
一人一部分のテーブルスピ
チで消息を語り、それにカ
ラオケとなりました。

物の漬

野沢菜・山午莠
各種漬物・製造販売

丸モ高木醸造店
代表取締役 高木常雄 (33回)

岡谷市今井区1870 TEL 22-2619(代)
配給センター
岡谷市小井川7658 TEL 23-0200(代)
長野営業所
長野市大字東和田字下組南沖784-3
TEL 0262-44-2720



やる気満々の清志会員たち

さあ当番幹事年だ (47回生)人生の節目に

去る二月十八日新宿西口 回の清志会東京総会が午後「今佐」に於いて定例の年一六時より開催されました。

となり、二期一会の機会をルフに清遊しました。岡谷惜みつつ散会となりました。市のレイクヒル・カントリーこの後は、宿泊者等の部 ーからの眺望は、白雪皚々屋で、さらに盆を重ねたり、の北アルプス、南アルプス街に出て、二次会の組もあ も遠く快晴の天空に突っ立ったようです。

翌日は、有志八名で、ゴ 百前後というところでした。

(浜 晴雄記す)

今後も機会があつたらやろ うと約し、楽しい思い出をつくりました。

出席者は二十三名で一年ぶりの再会に盆を重ねるに従って話題もはずみ楽しい一夜を過ごしました。

我が清志会は昭和三年生が大部分ですので、大会社では定年を迎える者もあり、又子会社出向といったケースも見られ、一つの節目を迎えた感があります。政治家や芸術家はおりませんが、夫々医、歯、薬科の分野で活躍し、教育関係では高等学校、中学校長になり、又中小企業経営等でも名を上げ、大会社では取締役、部長等となり多士済々の顔ぶれでありました。

しかし現在の職は違つて することも討議されました。七月九日(土)には翌日 なるアルコールが入れば、の総会を機に郷里で同級会 皆戦時中の諏訪中学生に戻 (清志会総会を前夜祭とし 「お前」「俺」で懐旧談 て開催することなど決め最 に部屋の各所で花が咲き、 後に、清陵校歌を真赤な顔 まことにはほほ笑ましい情景 で大合唱して散会しました。 が繰り広げられ、日頃のウ その後は夜の新宿ネオン街 サも晴れ楽しい一夜でした。へくり出して二次会へと流 本年は諏訪での同窓会総 行きました。

(桑沢和夫記)

清陵八十年史(960ページ)

諏訪中、清陵高八十五年の歴史を克明に登載した

限定出版

豪華版!!

残部 五百部

もう二度とこんな出版は出来ません。

早いもの勝ち!

諏訪市清水一の二〇〇の一

諏訪清陵高校同窓会

事務局へ

TEL 0266 5810356

医療法人若草会

文化丘病院

理事長 五味 一 (32回)

清英 (62回)

由英 (64回)

諏訪郡富士見町富士見4654

TEL 62-2046(代表)

訃報

56年5月から
58年3月まで

がある。

諏訪市豊田出身。諏訪瓦斯株式会社に入社。諏訪岡谷、岡谷営業所長、総務課長を経て取締役総務部長を勤務していた。六月二十九日、六十九歳で死去。岡谷、岡谷営業所長、総務課長を経て取締役総務部長を勤務していた。後北木材会社を設立、社長に就任、南信バルブ社長、信濃倉庫の社長など

松岡重三郎先生

五身。麻屋荒物店を経営、宮川茅野区長、同林野組合長、宮川商業会長などを歴任して諏訪中の国・漢教師を務められた。群馬県出身。十六年五月十六日死去。大正三年から昭和四年十月まで諏訪中の国・漢教師を務められた。群馬県出身。

伊藤光昭さん

五月二十七日、八十歳で死去。下諏訪町出身。京大卒。アムニクス発行所勤務。卒業後、東京都教育庁体育部保健課在職中であつた。

五味保義さん

五月二十七日、八十歳で死去。下諏訪町出身。京大卒。アムニクス発行所勤務。卒業後、東京都教育庁体育部保健課在職中であつた。

久保田三郎さん

六月二十五日、八十五歳で死去。諏訪市出身。中央大学卒、諏訪市出身。日大工学部卒業。諏訪市出身。東大卒後、長野県情報処理教育センターで死去。岡谷市出身、日大所長、蘇南、長野商業、長野東各高校長を経て、伊那弥生ヶ丘高校長の現職にあつた。

高木正夫さん

五月二十七日、八十歳で死去。下諏訪町出身。日、六十七歳で死去。諏訪市北沢二出身。東大卒業。東宝映画企画部入社したが縮役を務めていた。

矢島勝さん

六月十八日、八十四歳で死去。諏訪市中洲出身。長地川岸、高島の各小学校教諭を務め二十五年から三十八年まで諏訪清陵高校書道教諭を務めた。

後町富佐治さん

六月二十八日、八十四歳で死去。諏訪市小口文人さん、八月二日六十九歳で死去。陸軍少佐。勲五等旭日章、勲四等瑞宝章。諏訪市四賀出身。農業の戦後、岡谷市の水道、土木、たわら区長、農協理事、頼岳寺大総代などを歴任した。

小口文人さん

八月二日六十九歳で死去。陸軍少佐。勲五等旭日章、勲四等瑞宝章。諏訪市四賀出身。農業の戦後、岡谷市の水道、土木、たわら区長、農協理事、頼岳寺大総代などを歴任した。

茅野勝雄さん

十月十四日、八十七歳で死去。諏訪市出身。東大卒後、長野県情報処理教育センターで死去。岡谷市出身、日大所長、蘇南、長野商業、長野東各高校長を経て、伊那弥生ヶ丘高校長の現職にあつた。

三井周一郎さん

六月二十九日、七十歳で死去。諏訪市出身。京大卒。アムニクス発行所勤務。卒業後、東京都教育庁体育部保健課在職中であつた。

増沢栄一さん

七月二十九日、五十四歳で死去。諏訪市出身。京大卒。アムニクス発行所勤務。卒業後、東京都教育庁体育部保健課在職中であつた。

小松一夫さん

七月二十九日、五十四歳で死去。諏訪市出身。京大卒。アムニクス発行所勤務。卒業後、東京都教育庁体育部保健課在職中であつた。

林正輝さん

八月二十一日、五十一歳で死去。諏訪市出身。国学院大

kominar

ニューメディアに挑む

今始まるオプトエレクトロニクスの世界

常に技術の限界に挑戦する

日東光学株式会社

取締役社長 金子定正

卒。諏訪大社に奉職、諏訪市の手長神社に移り、宮司を務めていた。

年団長、湖南村議、社会党員などを歴任した。

吉山(原)伊三雄さん 二月十三日、五十九歳で死亡。諏訪市中洲出身。中洲

五味智英さん 三月 番幹事の四十四回生・桑沢和夫さんほかの皆さん、またお忙しいなかをご投稿いただいた本部・支部役員、学年幹事の皆さんに深甚なる謝意を表します。

矢崎金興さん 十一月三十日、九十四歳で死去。

溝口美文さん 五十歳、退職後はきよめ茶屋を経営していた。この間、中洲青年会長、諏訪大社工社

大総代を歴任、諏訪市議会議員、中央道対策特別委員

小口文人さん 八月 報の取材、所定原稿用紙への書き写しなど、根気のいる仕事をお手伝い下さった

茅野出身、肥料商を営み、三信茅野肥料株式会社を設立、やままる産業代表取締役

東京医専卒業。医学博士。東京都中野区にて外科・眼科医を開設していた。

長、神宮寺商工会長などの現職にあった。

新村千博さん 三月 二十一日、七十八歳で死去。辰野町出身。東大工学部卒。四十六回生・平林稔里さん

乗用自動車、諏訪食糧、諏訪石炭工業などの役員を勤めた。また区長、村議、保

護司などの公職を歴任した。

藤森純一さん 二月 五日、六十七歳で死去。諏訪市出身。長野師範卒。北

宮坂信元さん 二月 十五日、五十九歳で死去。下諏訪町出身。東京で不動

横内市夫さん 十一月三十日、七十三歳で死去。

岡谷市出身。農林省勤務を経て帰郷、伊那、岡谷中央

本郷、小井川など各小学校で教鞭を振る。退職後は、書の道を志し、在団法人日本書道教育学会の師範となり

武井武雄 二月七日 十八歳で死去。岡谷市出身。東京美術学校洋画科卒。文化団体及灯社を結成し文化

平林菊雄さん 十二月二十四日、八十五歳で死去。

諏訪市湖南出身。明大卒、諏訪郡青年会長、県青

二葉、長野商業で教諭を務め、岡谷竜上、諏訪清陵高校で教頭を歴任、諏訪一葉

☆なにはともあれ、会報九号を会員の皆さまのお手もとへ届けることができて、心うれしく存じます。昔の人の縁起かつぎではないが、本当に九は吉に通じるような気がいたしました。

編集後記

☆なにはともあれ、会報九号を会員の皆さまのお手もとへ届けることができて、心うれしく存じます。昔の人の縁起かつぎではないが、本当に九は吉に通じるような気がいたしました。

特約店 三井物産株式会社 日本製粉株式会社
味の素株式会社 フジ製糖株式会社
旭電化工業株式会社 雪印乳業株式会社

合名会社 川村商店

岡谷市御倉町 3-6-304

取締役会長 川村 忠雄 (第29回生)
取締役社長 岩波 誠司 (第47回生)
常務取締役 川村 泰由 (第64回生)